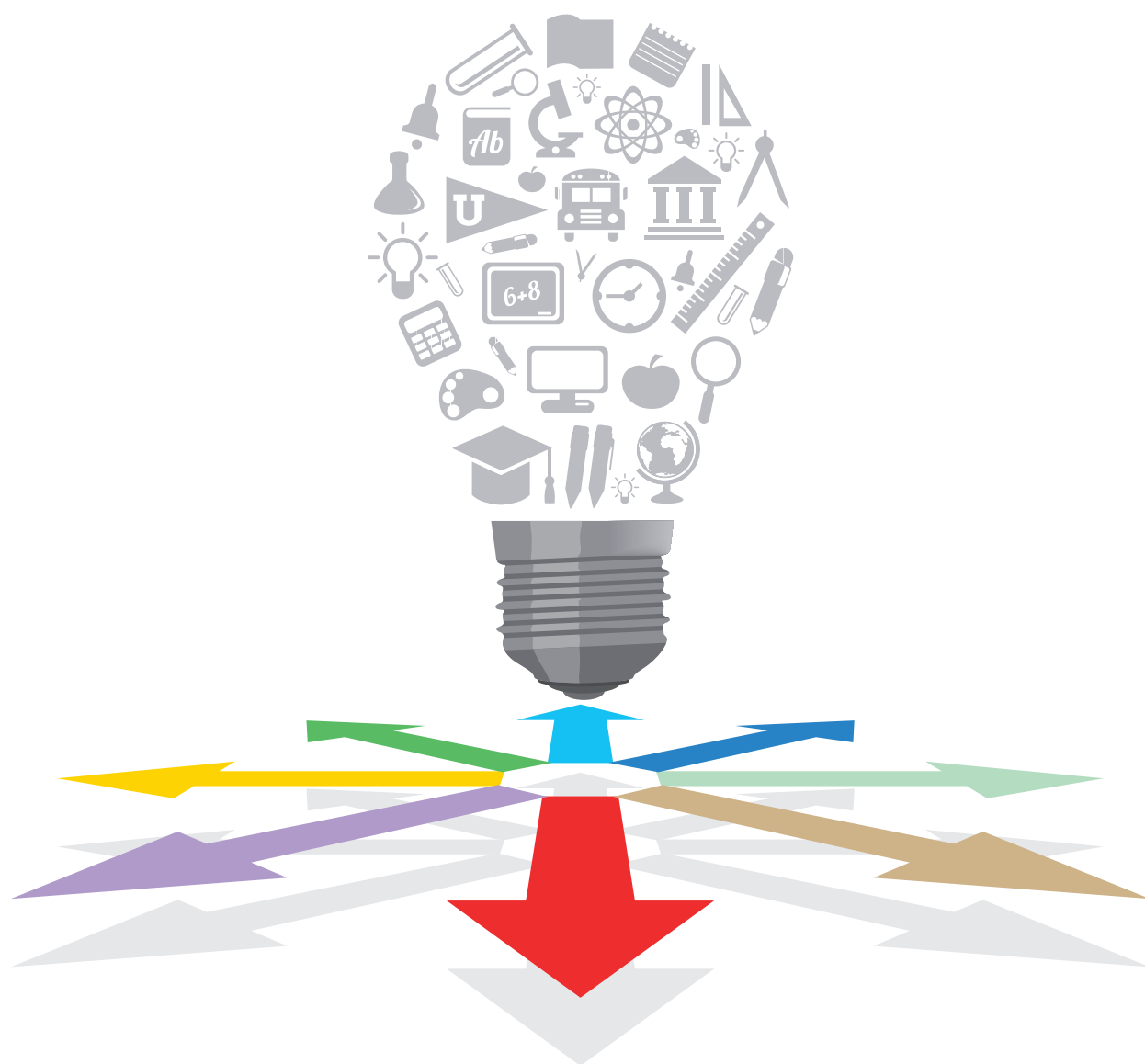


平成30年
大学院情報工学府
進学ガイド
2017-2018



国立大学法人 九州工業大学



九州工業大学は、産業界でとても有名な日本の国立大学です。
大企業に多数の人材を輩出し、インドネシア、マレーシア、タイ等にも
本学で博士号を取得した大学教員や研究者が多数います。

Kyushu Institute of Technology (Kyutech) is a national university very wellknown in the industrial world in Japan. Many of our graduates have joined scientific and engineering lines of leading companies. We are also proud to have produced a number of academics who completed our Ph.D. programs and teach in Asian countries such as Indonesia, Malaysia and Thailand.

九州工業大学ホームページ (Kyutech official website)

<http://www.kyutech.ac.jp/> (日本語)

or

<http://www.kyutech.ac.jp/english/> (English)

情報工学部学生係 (Student Affairs Branch of IIZUKA Campus)

jho-gakusei@jimu.kyutech.ac.jp



1. 情報工学府の特色ある教育プログラム 1

2. 九州工業大学大学院情報工学府の概要 2

3. 大学院入学から修了まで 4

4. 九州工業大学大学院情報工学府入学までの流れ 6

5. 九州工業大学大学院情報工学府における経済支援制度 8

6. 在学生・修了生の声 10

7. 情報工学府 就職先一覧 12

8. スチューデント・レジデンス 13

1. 情報工学府の特色ある教育プログラム

本学府では修了後のキャリアパスを意識することを目的に「コースモジュール」として体系だった学びが可能です。

ICTクラウドコース

社会の具体的な課題を情報技術により解決するリーダー的技術者が必要とされています。本コースでは、社会と最新の情報技術の関わりを理解し、クラウドを含む多様で複合的な情報技術を高度に活用し、新しい価値や新産業を創出できる高度な知識とスキルを備えた情報技術者を育成します。そのため、インターンシップや課題解決型グループ学習、ソフトウェア開発プロセスに関わる演習などを通して実践的な能力を養います。

連携機関

- ・九州経済連合会(九経連)
- ・カーネギーメロン大学ソフトウェアエンジニアリング研究所(CMU-SEI)
- ・九州大学大学院システム情報科学府情報知能工学専攻社会情報システム工学コース(QITO)

需要創発コース

実践的演習を通じて、新たな需要を創発できる人材の養成を目指すコースで、産学官協働による実践的な大学院教育プログラムです。コースの中核となる大学院実践演習では、提示される実際の問題に対応して、プロジェクトの立ち上げ、チームの形成、問題点の把握、課題の設定、ソリューション(解決方法)の提案、仕様書の策定、試作品の作成、納品に至るまでの過程に取り組みます。

プロジェクトの 具体例

- ・全方位移動型車椅子の実用化に向けての改良(地元メーカー)
- ・スクールバスの子ケットシステム構築(地元情報システム会社)
- ・地域医療連携支援(病院)

グローバルインフォマティクスリーダーズコース

国内外での英語による授業科目の履修や研究指導、海外の学術交流協定校(国立台湾科技大学大学院経営学研究科等)の講師陣による経営学の科目の修得、本学府の人文科学・社会科学系の専任教員による大学院科目の修得により、リーダーとして国際的に活躍できる高度情報技術者の育成を目指すコースです。

2. 九州工業大学大学院情報工学府の概要

コンピュータと情報システムを基盤とし、さまざまな産業分野や人間生活に資する高度な技術開発や創造性豊かな研究に携わる人材を養成します。

- ① 博士前期課程では、情報科学・工学の知識を基礎とし、問題を発見し解決する能力及び論理的なコミュニケーション能力を身に付けた上で、各専門分野で活躍できる能力を有する人材を養成します。
- ② 博士後期課程では、博士前期課程の素養と能力に加え、実践的な研究開発の経験に基づき、深い専門知識と高い志をもって自立して活躍できる能力を有する人材を養成します。

課 程	専 攻	専 門 分 野	基礎となる学部の専門学科群 ／博士前期課程の専門分野群
博 士 前 期	先端情報工学 Advanced Informatics	知 能 情 報 工 学	知 能 情 報 工 学 科
		電 子 情 報 工 学	電 子 情 報 工 学 科
	学際情報工学 Interdisciplinary Informatics	シ ス テ ム 創 成 情 報 工 学	シ ス テ ム 創 成 情 報 工 学 科
		機 械 情 報 工 学	機 械 情 報 工 学 科
		生 命 情 報 工 学	生 命 情 報 工 学 科
	情報創成工学 Creative Informatics	情 報 創 成 工 学	(上 記 5 学 科)
	博 士 後 期	情報工学 Computer Science and Systems Engineering	知 能 情 報 工 学
電 子 情 報 工 学			電子情報工学専門分野
シ ス テ ム 創 成 情 報 工 学			システム創成情報工学専門分野
機 械 情 報 工 学			機械情報工学専門分野
生 命 情 報 工 学			生命情報工学専門分野
情 報 創 成 工 学			情報創成工学専門分野

概 要

情報システムの基盤となるソフトウェア・ハードウェア、ネットワークの知識を修得し、コアコンピュータサイエンスやICT技術を含めた情報科学・情報工学の基盤となるシステムやその要素技術の高度化をもたらす先端的な開発を行うことのできる人材を養成します。コンピュータサイエンスや情報システム開発などの教育研究を行う「知能情報工学専門分野」、エレクトロニクス、コンピュータ・LSIや情報通信ネットワークなどの教育研究を行う「電子情報工学専門分野」の2専門分野で構成します。

ICT技術を応用したシステム創造のための知識・技術、デジタルエンジニアリングやロボティクス、生命工学に関連した情報システムの開発やバイオインフォマティクスなどの対象応用分野の高度な知識・技術を修得し、情報科学・情報工学の基盤的成果に活用・展開して、新たな学際領域を開拓する人材を養成します。ICT技術を応用したシステム創造のための教育研究などを行う「システム創成情報工学専門分野」、デジタルエンジニアリングやロボティクスなどの教育研究を行う「機械情報工学専門分野」、生命工学に関連した情報システムの開発やバイオインフォマティクスなどの教育研究を行う「生命情報工学専門分野」の3専門分野で構成します。

社会情勢の変化により産業界で発生したさまざまな問題から課題を拾い上げ、最新の情報技術を原動力に、実務的な解決・実現を図る道筋作りのための知識を修得し、社会のニーズに基づく産学連携を推進して、情報技術で社会を駆動していく姿勢を身に付けた人材を養成します。「情報創成工学専門分野」は、専任の教員に加え、情報工学部5学科に対応する5専門分野にまたがる教授陣で構成します。

情報科学・情報工学の高い専門性に基づいて、情報技術の発展に有用な先端的な基盤技術を開発したり、いろいろな分野の科学技術との融合により実在する種々の課題に対処できる革新的な情報システムを構築したり、更にIT技術の将来を先取りし社会の仕組みまでを変革するグローバルリーダーとなり得るような、最先端の情報工学的アプローチを総合的に取り扱うことのできる姿勢を身につけた人材を養成します。従来の特攻や狭い研究分野の壁を越えた融合型の特攻であり、博士前期課程の3専攻6専門分野で構成します。

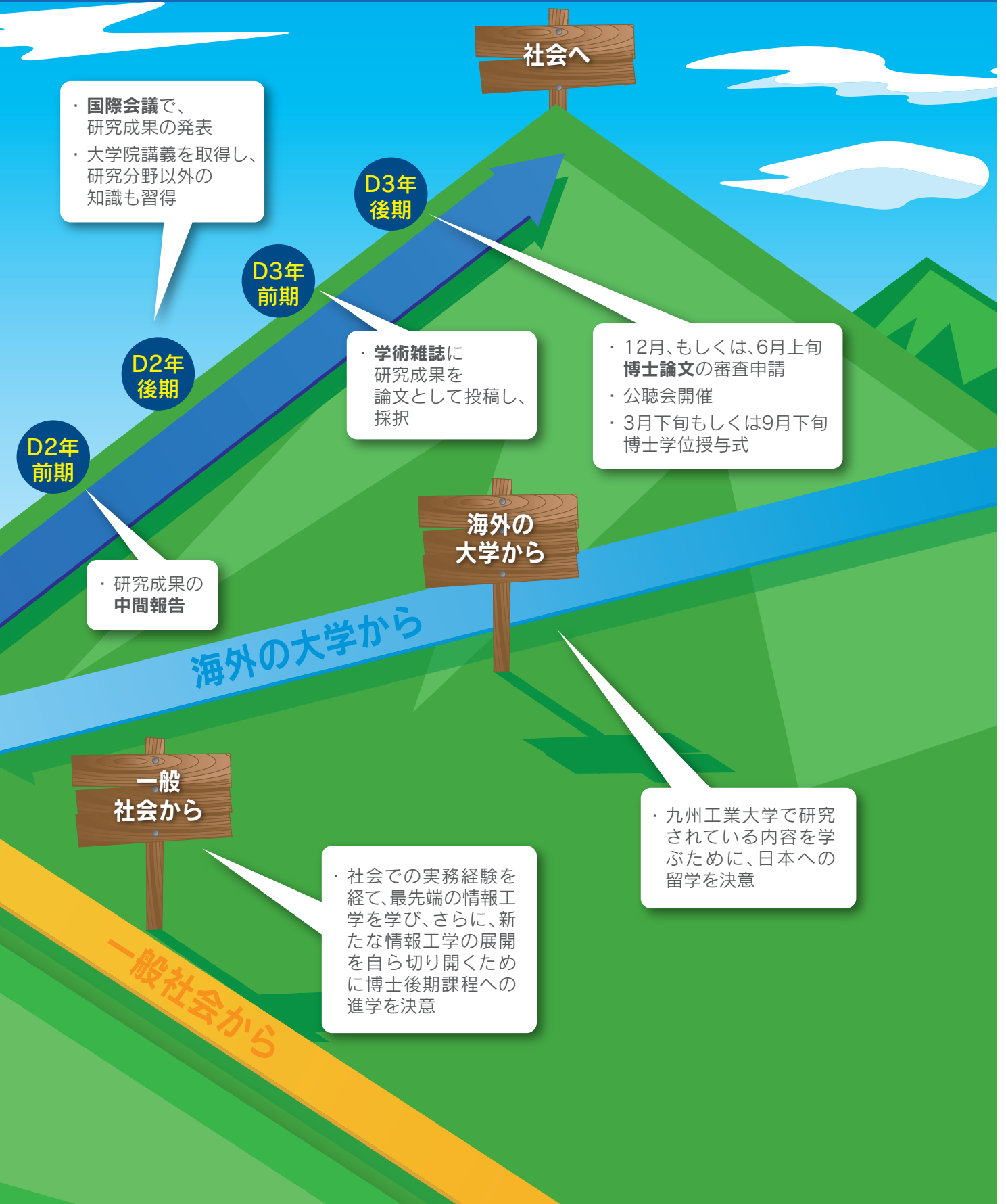
3. 大学院入学から修了まで

より広く、より深く、より高く、大学院での学習機会を提供します。

以下に博士前期課程の2年間及び博士後期課程での3年間の流れの一例を示します。



博士後期課程



4. 九州工業大学大学院情報工学府入学までの流れ

Application Procedures for Admission to Graduate School of Computer Science and Systems Engineering of Kyutech

1

希望する研究分野の教員を見つける Finding a potential supervisor

九州工業大学ホームページなどを見て、自分が指導を受けたい研究分野の教員を探します。

Search a potential supervisor who conducts research in a specific field you are interested in on the Kyutech website.

2

教員にコンタクトをとる Contacting the potential supervisor

教員又は事務部にメール連絡し、研究室に受け入れてもらえるかどうか打診します。メールには、学歴や自身の研究テーマも記載してください。

Contact the supervisor or the university admissions office by e-mail to discuss opportunities for you to participate in the laboratory. In your email, please include your academic backgrounds and your research topics.

3

教員との面談 Arranging a meeting with the potential supervisor

出願する前に、希望する教員と面談などにより十分に意思疎通を行ってください。学会の場で会ったり、インターネット面談を行ったりすることもあります。

Before applying for admission to Kyutech, please discuss fully with the supervisor to see if your research topics correspond to the supervisory competences. You can meet your potential supervisor at academic conferences or, in some cases, you may have an interview with the supervisor on the Internet.

4

入学試験への出願 Registering for the admissions test

出願期間 4月入学者 5月～6月 12月～1月(2次募集)
10月入学者 5月～6月 ※ホームページ等で必ず確認してください。

海外からの出願の方法は2通り

- ①日本で : 日本在住の知人に、代理で出願手続き。
 - ②日本以外の国から : 検定料を、インターネット決済サイト(<http://e-apply.jp/e/kyutech/>) から、クレジットカード(VISA・MasterCard・MUFG・DC・UFJ・NICOS) 又は中国銀聯ネット決済により払込みのうえ、プリントアウトした
- ※検定料30,000円。
※(日本政府)国費留学生は検定料不要です。 「支払完了通知」を出願書類と共に郵送。

Registration Periods: May-June or December-January (April enrollment) . May-June (October enrollment) . You can check the details on the Kyutech website.

You can register for the admissions test from abroad in either of the following two ways.

- (1) From within Japan: We accept proxy registration. Ask an acquaintance living in Japan to register for the test on your behalf.
- (2) From outside Japan: Pay admissions test fees with a credit card (VISA, MasterCard, MUFG, DC, UFJ or NICOS) from the Internet settlement site (<http://e-apply.jp/e/kyutech/>) or by Internet payment of China UnionPay settlement, print out "Payment Completion Notice," and submit it together with the application documents.

* Admissions Test Fees: 30,000 yen

* Japanese Government Scholarship Students do not need to pay for the admissions test.

5

受験 Taking the admissions test

九州工業大学飯塚キャンパスで受験するか、インターネット面接で受験します。(インターネット面接は原則として社会人及び外国在住の外国人のみ、協議のうえ実施することがあります。) 受験の方法は、上記2・3で先生に相談してください。

You need to take the admissions test at the Kyutech IIZUKA Campus or have an online interview. Please discuss with your prospective supervisor (cf. 2, 3) the best possible way to take the test.

6

合格者発表 Announcement of test results

合格者の発表は本学ホームページで閲覧可能です。
The test results will be announced on the Kyutech website.



7

入学手続 Admissions Procedure

入学試験に合格したら、入学手続を行います。

入学金282,000円。(他に、授業料535,800円/年)ただし、(日本政府)国費留学生は納入不要です。

入学料と授業料は、全額または一部を免除する制度があります。希望者は入学時に申請が必要です。

ただし、入試成績・在学中の成績、経済状況によっては免除が認められないこともあります。

Once you are accepted, you need to complete the admissions procedure.

Admission Fee: 282,000yen (Apart from this, you need to pay tuition fees of 535,800 yen per year.)

* Japanese Government Scholarship Students do not need to pay the admission fee nor the tuition fees.

All or part of the admission fee and of the tuition fees can be waived upon application.

However, application for fee exemptions may sometimes be disapproved due to your admissions test results, poor academic achievements and personal finance.



8

留学生のみ 入国ビザ取得手続 Applying for a visa

日本に入国する前に、入国ビザを取得する必要があります。手続は、大学事務部がサポートします。

Before landing in Japan, you need to obtain a visa. The university admissions office will assist with your visa application.



9

入学 Enrollment in Kyutech

すべての手続が終わったら、本学へ入学します。

After completing all the above procedures, you will be enrolled as a Kyutech student.

募集要項は九州工業大学のホームページから閲覧できます。

Application guidelines are available on the Kyutech website.

<http://www.kyutech.ac.jp/>

5. 九州工業大学大学院情報工学府における経済支援制度

大学院での学びを経済面からもバックアップします。

	制 度	対 象	制度概要																							
学費免除・猶予	入学科免除	新入生	<p>経済的理由により入学科の納付が困難であり、かつ、学業優秀と認められる者を対象として、選考により、入学科の全額または半額の納付が免除されます。</p> <p>【申請時期：入学手続時】</p>																							
	入学科徴収猶予	新入生	<p>経済的理由により納付期限までに入学科の納付が困難であり、かつ、学業優秀と認められる者を対象として、選考により、入学科の徴収が一定期間猶予されます。</p> <p>【申請時期：入学手続時】</p>																							
	授業料免除	全学生	<p>経済的理由により授業料の納付が困難であり、かつ、学業優秀と認められる者を対象として、選考により、授業料の全額または半額の納付が免除されます。</p> <p>【申請時期：新入生は入学手続時、在学生は半期ごと（前期分3月・後期分8月）】</p>																							
奨 学 金	日本学生支援機構奨学金	全学生	<p>人物・学業ともに優秀かつ健康であり、学資の支弁が著しく困難な学生に対し、大学の推薦及び日本学生支援機構の選考を経て奨学金が貸与されます。</p> <p>毎年4月に希望者説明会を実施しますが、学部卒業後すぐに大学院に進学する学生に対しては、進学前に奨学金の申請手続を済ませておく予約採用制度もあります。</p> <p>第一種(無利子)： 博士前期課程 50,000円または88,000円 博士後期課程 80,000円または122,000円 第二種(有利子)： 5万円・8万円・10万円・13万円・15万円の中から選択</p> <p>※平成28年度実績（在学採用）</p> <table border="0"> <tr> <td>第一種</td> <td>博士前期課程</td> <td>35名</td> </tr> <tr> <td></td> <td>博士後期課程</td> <td>1名</td> </tr> <tr> <td>第二種</td> <td>博士前期課程</td> <td>4名</td> </tr> </table> <p>（予約採用）</p> <table border="0"> <tr> <td>第一種</td> <td>博士前期課程</td> <td>45名</td> </tr> <tr> <td></td> <td>博士後期課程</td> <td>4名</td> </tr> <tr> <td>第二種</td> <td>博士前期課程</td> <td>48名</td> </tr> </table> <p>【申請時期：4月上旬、予約採用は入試合格者発表後】</p>	第一種	博士前期課程	35名		博士後期課程	1名	第二種	博士前期課程	4名	第一種	博士前期課程	45名		博士後期課程	4名	第二種	博士前期課程	48名					
	第一種	博士前期課程	35名																							
		博士後期課程	1名																							
	第二種	博士前期課程	4名																							
第一種	博士前期課程	45名																								
	博士後期課程	4名																								
第二種	博士前期課程	48名																								
各種育英財団・地方公共団体・企業などの奨学金	(各団体が定める要項による)	<p>本学で平成28年度に取り扱った育英事業団体は次のとおりです。一部、給付型の奨学金もあります。</p> <table border="0"> <tr> <td>● 三井金型振興財団</td> <td>● 広島県商工労働局</td> <td>● 山口県産業戦略部</td> </tr> <tr> <td>● 浦上奨学会</td> <td>● 旭硝子奨学会</td> <td>● あしなが育英会</td> </tr> <tr> <td>● 北九州市教育委員会</td> <td>● 金澤記念育英財団</td> <td>● 川村育英会</td> </tr> <tr> <td>● 公益信託池田育英会トラスト</td> <td>● 在日本朝鮮人教育会</td> <td>● 交通遺児育英会</td> </tr> <tr> <td>● 帝人奨学会</td> <td>● 東ソー奨学会</td> <td>● 朝鮮奨学会</td> </tr> <tr> <td>● 日揮・実吉奨学会</td> <td>● 日鉄鉱業奨学会</td> <td>● (株)旭化成</td> </tr> <tr> <td>● 原田記念財団</td> <td>● 福井県総合政策部</td> <td>● (株)東レ</td> </tr> <tr> <td>● 吉田育英会</td> <td>● 吉本章治奨学会</td> <td>● 大阪造船所奨学会</td> </tr> </table>	● 三井金型振興財団	● 広島県商工労働局	● 山口県産業戦略部	● 浦上奨学会	● 旭硝子奨学会	● あしなが育英会	● 北九州市教育委員会	● 金澤記念育英財団	● 川村育英会	● 公益信託池田育英会トラスト	● 在日本朝鮮人教育会	● 交通遺児育英会	● 帝人奨学会	● 東ソー奨学会	● 朝鮮奨学会	● 日揮・実吉奨学会	● 日鉄鉱業奨学会	● (株)旭化成	● 原田記念財団	● 福井県総合政策部	● (株)東レ	● 吉田育英会	● 吉本章治奨学会	● 大阪造船所奨学会
● 三井金型振興財団	● 広島県商工労働局	● 山口県産業戦略部																								
● 浦上奨学会	● 旭硝子奨学会	● あしなが育英会																								
● 北九州市教育委員会	● 金澤記念育英財団	● 川村育英会																								
● 公益信託池田育英会トラスト	● 在日本朝鮮人教育会	● 交通遺児育英会																								
● 帝人奨学会	● 東ソー奨学会	● 朝鮮奨学会																								
● 日揮・実吉奨学会	● 日鉄鉱業奨学会	● (株)旭化成																								
● 原田記念財団	● 福井県総合政策部	● (株)東レ																								
● 吉田育英会	● 吉本章治奨学会	● 大阪造船所奨学会																								
日本学生支援機構奨学金	私費外国人留学生	<p>在留資格が「留学」で、国費外国人留学生または外国政府の派遣する留学生のいずれにも該当しない者のうち、所定の給付要件等を満たす者を対象として、大学の推薦及び日本学生支援機構の選考を経て奨学金が給付されます。</p> <p>給付金額：月額48,000円 給付期間：12ヶ月</p> <p>【申請時期：4月上旬】</p>																								
外部の団体が募集する奨学金	留学生 (各団体が定める募集要項による)	<p>本学で平成28年度に取り扱った奨学金は次のとおりです。全て給付型の奨学金です。</p> <table border="0"> <tr> <td>● ロータリー-米山奨学金</td> <td>● 椎木正和記念アジア奨学金</td> </tr> <tr> <td>● 福岡県国際交流センター奨学金</td> <td>● アシュラン国際奨学金</td> </tr> <tr> <td>● 福岡県国際交流センター里親奨学金</td> <td>● 田坂育英基金</td> </tr> <tr> <td>● 実吉奨学金</td> <td>● 吉本章治奨学金</td> </tr> <tr> <td>● ドコモ留学生奨学金</td> <td>● KDDI財団奨学金</td> </tr> <tr> <td>● 平和中島財団奨学金</td> <td>● 佐藤陽国際奨学財団</td> </tr> <tr> <td>● 吉川育英会奨学金</td> <td>● 金澤記念育英財団</td> </tr> </table>	● ロータリー-米山奨学金	● 椎木正和記念アジア奨学金	● 福岡県国際交流センター奨学金	● アシュラン国際奨学金	● 福岡県国際交流センター里親奨学金	● 田坂育英基金	● 実吉奨学金	● 吉本章治奨学金	● ドコモ留学生奨学金	● KDDI財団奨学金	● 平和中島財団奨学金	● 佐藤陽国際奨学財団	● 吉川育英会奨学金	● 金澤記念育英財団										
● ロータリー-米山奨学金	● 椎木正和記念アジア奨学金																									
● 福岡県国際交流センター奨学金	● アシュラン国際奨学金																									
● 福岡県国際交流センター里親奨学金	● 田坂育英基金																									
● 実吉奨学金	● 吉本章治奨学金																									
● ドコモ留学生奨学金	● KDDI財団奨学金																									
● 平和中島財団奨学金	● 佐藤陽国際奨学財団																									
● 吉川育英会奨学金	● 金澤記念育英財団																									

	制 度	対 象	制度概要
奨学金	九州工業大学 基金事業(奨学事業)	博士後期課程の 社会人新入生	本事業は、学ぶ意欲と能力のある大学院博士後期課程社会人学生を対象に、入学時の経済的支援を実施することを目的としています。 【奨学金】入学金相当の半額141,000円を給付する。採択人数は10名。
	九州工業大学 基金事業(奨学事業)	留学生	本事業は、学ぶ意欲と能力のある博士後期課程の留学生を対象に、経済的支援を実施することを目的としています。 【奨学金】基本額 30,000円/月 年間20名程度。 ※他の奨学金を受給している場合は、その差額分を本奨学金として支給する。
学会参加旅費等	各教育プログラム による経済支援	全学生	本学独自の教育プログラムのうち、補助金、国や地方公共団体からの支援、民間企業等外部の団体からの支援、大学独自の支援等により、教材費、国内外への旅費、その他の経済支援を行っているものが多数あります。
	学会発表等に関する 奨学金	全学生	国外で開催される国際的な学術研究機関、団体が主催する学会又は研究会等で研究成果の発表等を行う際の費用の一部を支援することにより、国際感覚の涵養及び修学・研究意欲の向上を図る。 【奨学金】一人一回につき 30,000円~100,000円。 ※地域により異なる。在学中に3回まで。
雇用制度	日本学術振興会 特別研究員	博士後期課程学生	日本学術振興会による、優れた若手研究者に研究に専念する機会を与えることによって我が国の学術研究の将来を担う創造性に富んだ研究者の養成・確保に資することを目的として、大学院博士後期課程在学者に研究奨励金を支援する制度です。 特別研究員 DC1(博士課程後期第1年次在学学生) 200,000円/月 DC2(博士課程後期第2年次以上在学学生) 200,000円/月
	リサーチ・ アシスタント(RA)	博士後期課程学生	教育的配慮の下に、研究補助者として本学が行う研究プロジェクト等に参画させ、これに対する給与を支給して経済的支援を行う制度で、勤務1日当たり6千円、月額6万円を支給します。 ※但し、国費留学生又はそれに準じる学生、COE 研究支援員として雇用されている者は除きます。 ※平成 28 年度実績 33 名
	ティーチング・ アシスタント(TA)	全学生	教育的配慮の下に教育補助業務に従事させ、これに対する給与を支給して経済支援を行う制度です。 ※平成 28 年度実績 356 名 (博士前期課程・博士後期課程の合計かつ前学期・後学期全科目の延べ人数)
住居	スチューデント・ レジデンス	全学生	1 棟 20 戸、1 戸あたり 3 室の日本人学生と外国人留学生とのルームシェア方式です。 各戸にはキッチン、シャワールーム、トイレ、冷蔵庫、洗濯機、電子レンジ、テーブル、エアコン等を備えています。また、各部屋にはベッド、机、クローゼット、照明器具、エアコン等を備えています。 入居期間は原則として1年間です。(申請により延長することも可能です) 寄宿料(月額)15,000円(食費・生活費等は含まない) ※留学生は7,000円減免されることがあります。 光熱水料(月額)約5,000円~10,000円程度
	国際交流会館	留学生	各部屋にはキッチン、冷蔵庫、ベッドやその他の家具・調度品を備え、他に共通施設として研修室、談話ホール、洗濯室等があります。 入居期間は原則として6ヶ月以内です。 寄宿料(月額)単身室5,900円、夫婦室9,500円、家族室14,200円(食費・生活費等は含まない) 光熱水料(月額)約5,000円~10,000円



スチューデント・レジデンスでの留学生と日本人学生の交流。



大学から学生生活活動の支援を受け、電気自動車製作。大会に出場までを支援。



国際交流会館。留学生向けの宿舎です。

6. 在学生・修了生の声

様々な分野で、国内外で、活躍しています。



学際情報工学専攻
平成29年3月博士前期課程修了
修士(情報工学)
Etsuko Kamikumasu

上熊須 悦子

私はもともと医療分野に興味があり、何かしらの形で医療に携わりたいと考え生命情報工学科に入学しました。学部4年生のとき、進路に迷っていたところ大学院に医療イノベータ(ユーザーに求められる医療サービス・医療機器の開発者)を育成するコースができることを知り、学んでみたいという思いから大学院進学を決めました。

大学院では、コースでも用いられているデザイン思考の教育をテーマに研究をしています。研究は道無き道を自分で描きながら進んでいかなければいけないため、どうしたらいいのかわからなくなることもありますが、迷った時は原点に戻り再度考え直すことを大切に、研究を進めているところです。なにより自分の興味のあることを突き詰めることができる、これが私のモチベーションになっています。

大学院では、学部の時よりも自分で計画を立てやすくなるため、空いた時間を有効に利用することを心がけています。特に異文化交流に興味があり、留学生とルームシェアをしたり、海外インターンシップや海外研修に参加したりしています。積極的に行動することで様々な人と出会い、刺激を受け、自分を見つめ直すことができるので、自分を知るよい機会になっています。

大学院卒業後は、医療サービスの仕事に携わりたいと考えています。国内だけでなく、海外でも活躍できる技術者になれるよう、人とのつながりを大切に日々努力していきたいと考えています。

九工大は、学生のチャレンジをサポートする環境が整っていると思います。学生の時間は限られていますので、研究、留学、課外活動等、様々なことに挑戦することをおすすめします。



情報システム専攻
H28年3月博士後期課程修了
博士(情報工学)

Lam Duc Khai

(ベトナム人留学生)
現在: Vietnam National
University Ho Chi Minh
City
University of Information
Technology
Vice dean of Computer
Engineering Department

I have spent three and a half years in Ochi-Lab, Iizuka campus, Kyushu Institute of Technology (KIT), Japan for the Ph.D course. This duration gave me many great and unforgettable experiences. In my lab, all people were very kind, they were always willing to help me when I asked them, I could practice speaking Japanese with them every time. When I had any difficulties in the research, the professors and the staffs in my lab always consulted me to find the solutions. I also miss my Japanese teacher, Hirata sensei, she not only taught me Japanese but also gave me many delicious foods. I really appreciate Kobayashi-san, who is in-charge of international students. Our student life in KIT was comfortable because of her assistances.

There were many activities for international students to enjoy during the school year such as Barbeque camping, Strawberry picking-up and the local company tours. Beside studying in school, I also had chances learn and share the culture with local Iizuka people by joining many activities hold by the Iizuka local authority, such as the Yamakasa festival, International foods festival and the Host family program. Through these activities, I had many good local Japanese friends.

I will always miss them in my life. Thanks KIT, thanks Iizuka and thanks Japan.



情報科学専攻
H28年3月博士後期課程修了
博士(情報工学)
Hiroshi Eto

江藤 宏

現在: 九州大学経済学部助教

私は九州工業大学情報工学部を卒業後、同大学の大学院の博士前期課程及び後期課程を修了しました。現在は、九州大学経済学部にて助教をしており、学部生に対して情報処理の授業を行っています。

九州工業大学で学んだこと、経験したことは数多くありますが、有意義であったことのひとつとして研究が挙げられます。研究課題に対して結果を得ることは容易な事ではありませんが、研究を行う自体は研究室に入れば容易です。研究を進めるためには、知識を蓄えることや研究の現状を把握すること、研究内容を伝えることなど様々な経験が出来、また、研究を通して多く人とも関わりが持てるため、研究はとても良い経験になると思います。



情報科学専攻
H28年9月博士後期課程修了
博士(情報工学)
Yoshiharu Nakamura

中村 良治

現在：株式会社三井ハイテック
リードフレーム事業本部
技術統轄部 第二生産技術部

大学卒業後企業に勤め、企業で働く社会人の立場で博士後期課程へ進学しました。進学を思い至るきっかけは、企業とは異なる環境である大学に身を置き、研究内容の根本を見つめ直し新しい芽を見つける機会を得たいというものでした。担当して下さった先生からは新たな視点からのご意見や、私になかった知識を数多く頂き、研究をより深く掘って進めることができ成果をあげることができました。

また単位取得のため講義を受講しましたが、社会に出る前とは違った意識で講義にのぞめ、非常に楽しく有意義な時間を過ごすことができました。

九州工業大学は、積極的な姿勢があれば様々な機会を与えてくれる場所であり、私も論文誌への投稿に加え、国内そして海外の学会での発表を経験させて頂きました。企業内にはなかなか出会う機会のない様々な研究者たちと接点を持て、議論できたことは大きな財産になっています。

学ぶ喜びを実感させてくれ、また私が成長する機会を与えて頂いた九州工業大学に感謝しています。



情報工学専攻
H29年3月博士後期課程修了
博士(情報工学)

Tran Thi Thao Nguyen (ベトナム人留学生)

I am a graduate student of Prof. Hiroshi Ochi at Kyushu Institute of Technology. I will be graduating in March of 2017 with a doctoral degree in Electronics and Computer Science. I'm very fortunate to have this wonderful opportunity to be a part of Digital Signal Processing laboratory (DSP Lab) as well as making lifelong international friends and unforgettable memories these past three years. Thank you, the Japanese Government, for the MEXT Scholarship Program, which has allowed me to continue pursuing my dream and earning my doctoral degree without financial burdens.

One of my dreams is to be able to study in a professional environment with great advisors and well equipped laboratory facilities. My laboratory where I've spent most of my time in a day to engage in learning valuable knowledge from my professors and seniors as well as doing researches is the best place. Living in Japan and traveling to different countries such as United States, Germany or Qatar for international conferences while trying new foods, meeting friendly and welcoming local people and understanding their unique culture has been the highlight of my graduate experience.

Besides research life, I can enjoy real Japanese life thanks to the support of the student staffs. They are very kind and friendly as those in a family. They have organized many activities to learn about the Japan culture, cuisine and travel. From such activities, I can learn more about the life in Japan and especially Japanese language. Moreover, my Japanese ability can be improved more by attending the Japanese classes which are free for all international students at Kyutech.

Within three years of study here, apart from the knowledge, I have learned about the discipline, the collectivism and the punctuality of Japanese people. I hope that I can bring all the good things which I studied in Japan to share with others as much as I can.

7. 情報工学府 就職先一覧

平成28年3月卒業・修了者の就職先一覧です。

就職・進学先	計	男	女
九州工業大学大学院	10	10	0
九州大学大学院	1	1	0
奈良先端科学技術大学院大学	2	1	1
日立製作所	6	5	1
富士通九州システムサービス	5	5	0
アイシン・エイ・タブリュ	4	4	0
九州 NS ソリューションズ	4	3	1
九州工業大学 (教員・研究員・職員等)	4	3	1
東芝	4	2	2
富士通	4	4	0
三菱電機	4	4	0
アイシン精機	3	3	0
いすゞ自動車	3	3	0
スズキ	3	2	1
アドソル日進	2	2	0
SCSK 九州	2	2	0
エヌ・ティ・ティ・データ (NTT データ)	2	1	1
NTT データ MSE	2	2	0
オムロン	2	2	0
川崎重工業	2	2	0
久原本家グループ本社	2	0	2
小松製作所 (コマツ)	2	0	2
セイコーエプソン	2	2	0
テクノス	2	2	0
デンソーテクノ	2	2	0
東芝ソリューション	2	2	0
凸版印刷	2	2	0
日放電子	2	2	0
野村総合研究所	2	2	0
パナソニック	2	2	0
富士通九州ネットワークテクノロジーズ	2	2	0
富士フイルムソフトウェア	2	2	0
案天	2	2	0
RKK コンピューターサービス	1	1	0
アイコムソフト	1	1	0
アイシン・コムクルーズ	1	1	0
愛知県立旭陵高等学校	1	1	0
iD	1	1	0
アイルーク	1	1	0
アルプス技研	1	1	0
いい生活	1	1	0
伊藤忠テクノソリューションズ	1	1	0
イトーキ	1	1	0
インクリメント・ピー	1	1	0
インターネットイニシアティブ	1	1	0
インテリジェンスビジネスソリューションズ	1	1	0
エー・アンド・テイ	1	1	0
エキサイト	1	1	0
NRI システムテクノ	1	1	0
NEC 情報システムズ	1	1	0
NSSLC サービス	1	1	0
NS プラント設計	1	1	0
エヌ・ティ・ティ・コミュニケーションズ (NTT コミュニケーションズ)	1	1	0
エヌ・ティ・ティ・ネオメイト (NTT ネオメイト)	1	1	0
応用電機	1	1	0
大石膏盛堂	1	1	0
大島造船所	1	1	0
大塚製薬工場	1	1	0
化学及血清療法研究所 (一般財団法人)	1	1	0
カゴメ	1	1	0
川原建設	1	1	0
ガンバリオン	1	1	0
キャノン	1	0	1
キャノンマシナリー	1	0	1
京セラ	1	1	0
グリー	1	1	0
国土交通省	1	1	0
コニカミノルタ	1	0	1
コロブラ	1	1	0
サイボウズ	1	0	1
高砂熱学工業	1	1	0

就職・進学先	計	男	女
サムソン	1	1	0
JFE スチール	1	1	0
JFE 電制	1	1	0
シグマ	1	1	0
四国電力	1	1	0
システムライフ	1	1	0
シティアスコム	1	1	0
志布志市役所	1	1	0
昭和電工	1	1	0
新日鉄住金ソリューションズ	1	1	0
セキュアスカイ・テクノロジー	1	1	0
先進モビリティ	1	1	0
先端力学シミュレーション研究所	1	1	0
セントラルソフト	1	1	0
セントラルユニ	1	1	0
総合警備保障 (ALSOK)	1	1	0
ソニー LSI デザイン	1	1	0
ソニーセミコンダクタ	1	1	0
ソフトウェア・サービス	1	0	1
ソフトサービス	1	1	0
竹中工務店	1	1	0
田辺三菱製薬工場	1	1	0
中国新聞社	1	1	0
中電技術コンサルタント	1	1	0
ティーエスケイ情報システム	1	1	0
ディー・エヌ・エー (DeNA)	1	1	0
DNP 情報システム	1	1	0
テクマトリックス	1	1	0
TOTO	1	1	0
トヨタ自動車	1	1	0
トヨタプロダクションエンジニアリング	1	1	0
トワンゴ	1	1	0
ニコン	1	0	1
日産自動車	1	1	0
日本精工	1	1	0
日本電気 (NEC)	1	1	0
日本電気通信システム (NEC 通信システム)	1	1	0
日本発条 (ニッパツ)	1	1	0
日本ユニシス	1	0	1
日本ヒューレットパッカート	1	1	0
ネットエージェント	1	1	0
ネットコム BB	1	1	0
ピクシブ	1	0	1
日立インフォメーションエンジニアリング	1	1	0
日立建機日本	1	1	0
日立公共システム	1	1	0
日立システムズ	1	1	0
日立ソリューションズ・クリエイト	1	1	0
日立ソリューションズ西日本	1	1	0
日立パワーソリューションズ	1	1	0
ファナック	1	1	0
ファンコミュニケーションズ	1	1	0
フィードフォース	1	1	0
VSN	1	1	0
富士ゼロックスアドバンステクノロジー	1	1	0
富士電機	1	1	0
フマキラー	1	0	1
フリー	1	0	1
ボケラボ	1	1	0
本田技研工業 (ホンダ)	1	0	1
マツダ	1	1	0
三菱日立パワーシステムズ	1	1	0
メディカル・データ・ビジョン	1	1	0
メルコ・パワー・システムズ	1	1	0
安川情報システム	1	1	0
ヤフー	1	0	1
ヤマハ発動機	1	1	0
陽進堂	1	1	0
リクルートホールディングス	1	1	0
レコチョク	1	1	0
レシップホールディングス	1	1	0

8. スチューデント・レジデンス

日本人学生と留学生がともに生活することでグローバルマインドを養います。



アニザ ファデュリア さん
情報工学府博士前期課程情報創成工学専攻2年
ラベニリナ アイナ チウリ さん
情報工学府博士前期課程先端情報工学専攻1年
シティ アディンティヤ アリカ デサリ さん
情報工学府博士前期課程情報創成工学専攻2年
緒方 研仁 さん
情報工学府博士前期課程学際情報工学専攻1年



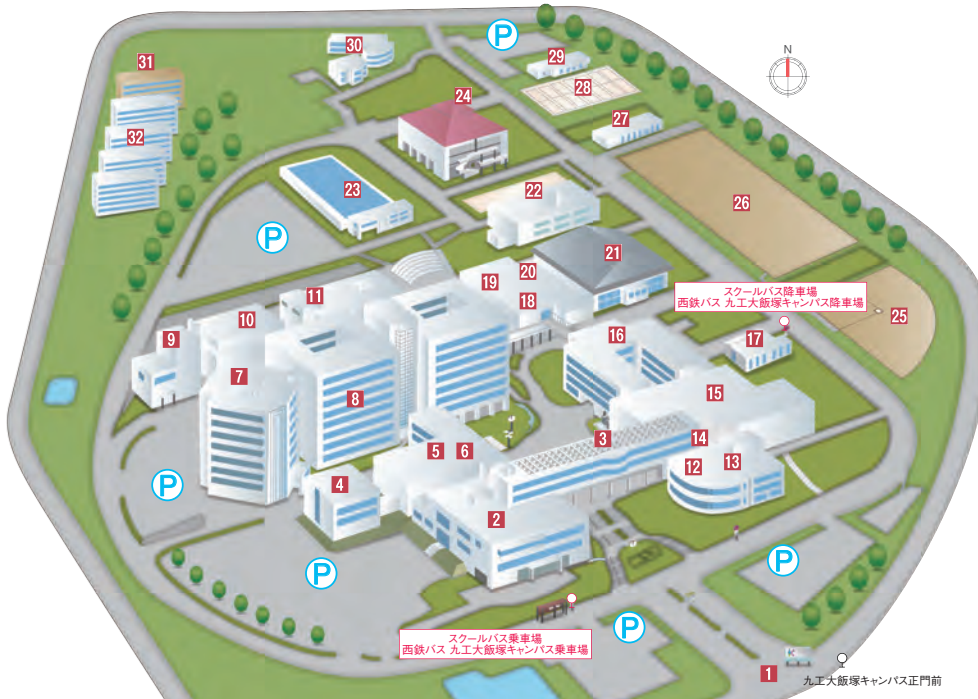
理解と思いやりで文化の壁を越える

スチューデント・レジデンスは、大学院生を中心に、外国人留学生及び日本人学生等に居住の場を提供し、併せて相互の国際交流の促進を図ることを目的として整備された居住施設です。

施設は情報工学部(飯塚キャンパス)内にあり、1戸3LDKを留学生2人と日本人1人でルームシェアするというもの。3LDKの3室が個室、LDKが共有空間となり、適度にプライベートを保ちながら、生活を共にすることができます。この施設で暮らすことにより、日常生活の中で英語に触れることができ、外国の文化や習慣に対する理解も深まります。

入居者のアニザさんは「スチューデント・レジデンスでは多くの国の学生と出会えて楽しいことがたくさんあります。みんなが集まって各国の料理を作ったり、一緒に食べたりしています。毎年行われるそうめん流しやバス旅行等のイベントを通して異文化交流を深めています。」アディンさんは「設備や家具が備わっていて便利です。台所、リビング等は3人共有で使っているので、料理や食事をしながら、日本人のルームメイトとコミュニケーションを取り、日本語をはじめ、文化、習慣に触れることができます。毎日の寮生活は充実しています。」緒方さんは「留学生と一緒に生活をしながら国際交流ができ、異文化適応力やコミュニケーションスキルを高めることができます。」と、スチューデント・レジデンスの魅力を語ってくれました。

キャンパスマップ



- 1 正門
- 2 研究管理棟
- 3 共通教育研究棟
- 4 インキュベーション施設
- 5 情報科学センター
- 6 学生談話室「オアシス」
- 7 総合研究棟
- 8 研究棟
- 9 研究棟サテライト1
- 10 実習棟
- 11 マイクロ化総合技術センター
- 12 附属図書館
- 13 ラーニングcommons
- 14 飯塚サイエンスギャラリー
- 15 大講義棟
- 16 講義棟
- 17 インタラクティブ学習棟「MILaIS」^{ミライズ}
- 18 グローバルコミュニケーションラウンジ
- 19 キャリアセンター
- 20 福利施設(食堂・売店等)
- 21 ラーニングアゴラ棟
- 22 課外活動施設
- 23 プール
- 24 体育館
- 25 野球場
- 26 多目的グラウンド
- 27 体育器具庫
- 28 テニスコート
- 29 テニス器具庫
- 30 国際交流会館
- 31 スチューデント・レジデンス
- 32 職員宿舎



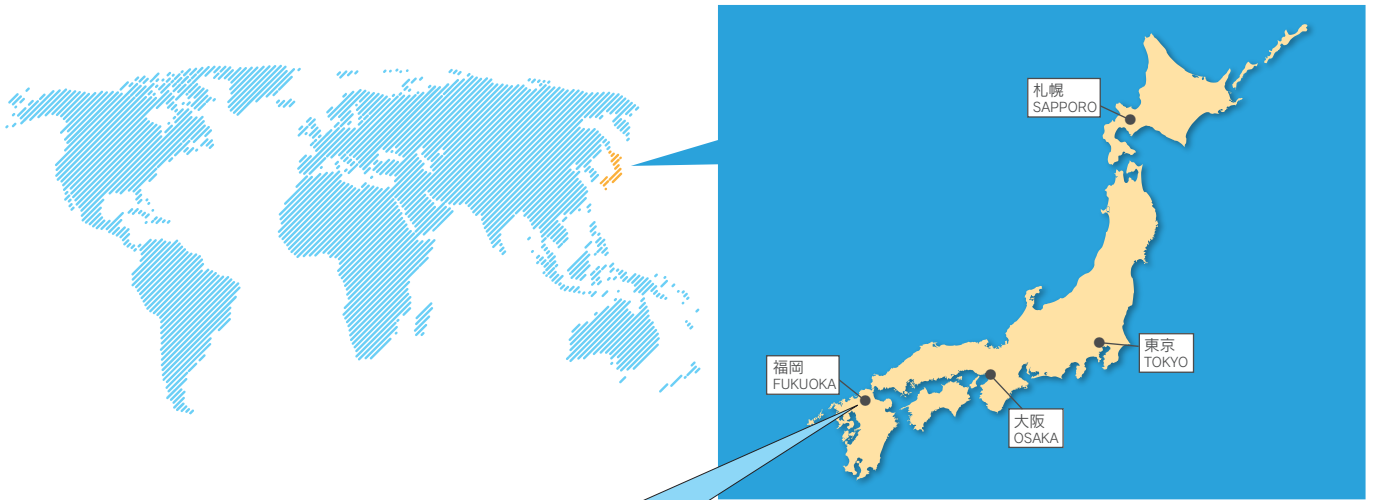
キャンパス全景



17 インタラクティブ学習棟「MILaIS」



21 ラーニングアゴラ棟



福岡県の主要交通機関・道路と3キャンパス



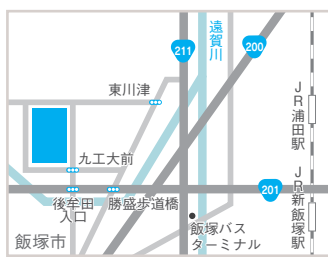
◎主要な場所から飯塚キャンパスまでのアクセス時間

JR 小倉駅	▶ 95分	JR 博多駅	▶ 55分	天神	▶ 70分
北九州空港	▶ 95分	福岡空港	▶ 70分		

※アクセス時間はおおよその目安です。公共交通機関は乗り継ぎの時間を考慮し、余裕をもってお出かけください。

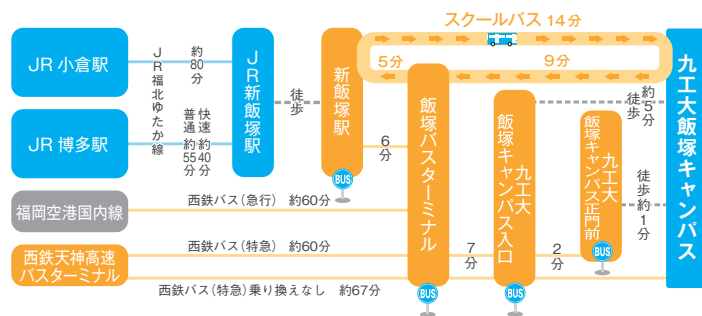
◎西鉄特急バスが飯塚キャンパス構内の運行を開始しました。平成27年3月下旬より、福岡（天神）～八木山バイパス～飯塚バスターミナル～飯塚キャンパス構内を運行しています。

◎飯塚キャンパス行スクールバスを運行しています。平日の8時～21時まで、主に始業・終業に合わせて10～45分間隔で運行しています（ただし授業期間外は減便運行）。詳細は、http://www.iizuka.kyutech.ac.jp/school_bus/を参照。



飯塚キャンパス

〒820-8502 福岡県飯塚市川津680-4
TEL 0948-29-7500(代)



<http://www.iizuka.kyutech.ac.jp/>

